

文教福祉常任委員会

(令和6年11月15日)

文教福祉常任委員会

午前 9時57分 開会

○福森真司委員長 ただいまから、文教福祉常任委員会を開会します。

本日の会議につきましては、タブレット端末に掲載した日程により進めさせていただきます。

それでは、「2. 審査事件（1）令6陳情第10号・子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）接種後の健康被害救済についての陳情」を議題といたします。

先般の9月定例会会議の審査の中で、審査を継続するということになりました。前回の協議で執行部にも出席していただき、各委員から質疑等を出していただきましたので、今回は執行部の出席を求めず、委員間で協議をさせていただきたいと思います。

協議を進めるに当たりまして、議会局に資料を作っていただきました。まず、それを見ていただいてからと思いますので、説明をお願いします。

議会局書記。

○議会局書記 資料のほうは資料1となります。モニターにも映しております。

1ページ目、2ページ目につきましては、陳情文書表をそのまま載せさせていただいております。3ページ目が資料1となりますが、こちらは9月定例会会議の審査内容についてまとめさせていただいております。

まず、執行部より説明があった内容については、3種類に分けて記載しております。

1段目のワクチンについてを御覧ください。こちらは平成21年に、ワクチンが認可され、平成22年11月から予防接種法に基づかない任意接種が全国の自治体で開始されたということです。

2段目の救済制度につきましては、予防接種法による定期接種や臨時接種なのか、予防接種法によらない任意接種なのかによって、適用される制度が異なりまして、今回の陳情対象者の場合は、任意接種の期間に接種しているため、2番の独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）法が適用されるということです。こちらの制度は、当事者が直接申請するもので、医療費、医療手当、障害年金などが給付されますが、今回の陳情者の場合は、不支給決定通知が届いているという現状となります。また、独自給付を行っている自治体は、1自治体のみと執行部より当日の審査で説明がございましたが、詳細につきましては、後ほど御説明させていただきます。

3段目の本市の対応経過につきましては、資料に記載のとおり、平成27年に保護者から相談を受けて以降、様々な対応をしていますが、現時点で保険金の支払い等はされていないということです。

表の下に記載しておりますが、前回の審査時には、理解を深めて議論するために審査を継続するという結論に至っております。

次に、4 ページ目を御覧ください。こちらは先ほど少し触れましたが、自治体独自で救済を行った内容についてまとめたものとなります。

まず、表の上でございしますが、独自の認定で実施した自治体の救済制度につきましては、任意の予防接種を受け、PMDA の制度では不支給とされましたが、自治体で救済することを決めたものとなります。

表のほうを御覧ください。独自救済を行った自治体は、兵庫県多可町で、人口約 1 万 8,000 人の町となります。救済方法としては、自治体で調査委員会を立ち上げて調査を行い、その委員会の結果から、保険の適用を申請し、保険金の支払いが決定されたものとなります。

一つ注意点といたしましては、表の 3 段目の特記事項に記載しておりますが、各自治体が予防接種による死亡や障害に対して補償するために加入している保険がございしますが、その保険によって、認定基準が異なるということでございます。自治体で救済することを決めた多可町が加入している全国町村会賠償補償保険では、PMDA もしくは町村がワクチンによる被害を認定することが認定基準となる一方、本市が加入している全国市長会賠償補償保険では、PMDA の判断を参考にするのが望ましいという認定基準となっております。

前回の審査の振り返り、また自治体独自の説明については以上となります。よろしくをお願いします。

○福森真司委員長 ありがとうございます。

議会局の説明を踏まえまして、皆様から御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

小菅委員。

○小菅基司委員 新たに勉強したい部分が出てきたので、うちの会派でも意見が様々あって、委員会で知り得た情報をもう一度持ち帰って、一緒に勉強したいという意見があるので、継続できたらお願いしたいというふうに思います。

○福森真司委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。

桑原委員。

○桑原昌之委員 陳情に関して、救済してあげたいという気持ちは、うちの会派でももちろんあるんだけど、市単独で何か救済っていうのは非常に難しいだろうと。なので、例えば陳情の内容を少し変えていただくとか、そういう形で、あくまでも、その救済に関わる何かに尽力はしたいけれどもという話になっているので、ここで、決を採ってってということではなく、小菅委員が言われたような形でさらに議論していくほうがいいかもしれない。

○福森真司委員長 間地委員。

○間地薫委員 すごく気持ちは分かるんですけども、ちょっと執行部の方の御説明と

か、以前お聞きしたところによると、こちらのほうから関わろうと思って御連絡をしたりとかしても、当時はまだ、学生さんでいらっしゃいましたが、今はもう御年齢が大人の、成人した年齢にはなっていますが、どうしてもその方に直接お話が聞けない状態が今あるって、そういう現状だということで、私はちょっとそっちのほうも心配で。

なので、これからやっぱり自然の流れから言えば親のほうが先に亡くなっていく。子供が自立してしていくために、賠償金とかそういうことではなくて、娘さんが自立して生活をしていけるようにサポートをしていくほうをしていけたらいいかなっていうふうに考えています。

○福森真司委員長 ほかはいかがでしょうか。

中村委員。

○中村知也委員 ちょっと保険のことって聞いてもいいですか。

町村会賠償補償保険と市長会賠償補償保険で、PMDAの判断を参考にするのが望ましいっていうふうなことなんだけど、参考にしないっていう選択肢もあるんですか。望ましいっていうのはどういうことですか。

○福森真司委員長 議会局書記。

○議会局書記 そこに関しては、詳しくはちょっと承知できていないのですが、一応執行部の担当課のほうで、市長会の保険のほうに聞いたところでは、そういうふうにおっしゃられているということです。

○福森真司委員長 中村委員。

○中村知也委員 本当だったら何かしっかりした決まりみたいなもので、望ましいみたいな話だったというのは何かあるわけですね、きっと。こうだっていう話が。

○福森真司委員長 石川委員。

○石川潤委員 引き続き継続っていうのも必要かと思います。

私も、ちょっと資料を少し調べてきたんですけど、皆さんで1回どういうものかを集まって学習して、あと今までの経過とかも、これやっぱりじっくり探っていく。

私もちょっとあるんですけど、共産党の高橋千鶴子氏、先日の衆議院議員選挙で落ちたんですけど、その方が、これについて、2回国会で取り上げていて、質問書をコピーしてきたんですけども、もう1回読み込んで、皆さんと協議していけたらなと思います。

○福森真司委員長 他にございますか。

横溝委員。

○横溝泰世委員 ちょっと復習みたいなもので申し訳ないんだけど、御本人は障害を抱えていらっしゃいましたかね。

○福森真司委員長 小菅委員。

○小菅基司委員 重篤です。

○福森真司委員長 横溝委員。

○横溝泰世委員 病気じゃなくて、発達障害とかそういったことを当初ちらっと聞いたけど。

○福森真司委員長 暫時休憩します。

午前１０時０７分 休憩

午前１０時１４分 再開

○福森真司委員長 再開します。

先ほどから、お話いただきました陳情の取扱いでございますけれども、協議を続けさせていただきまして、今回は審査を継続するというので、採決につきましては、12月定例会中、委員会審査を行わせていただきます。それまでに、また皆様各自で考えをまとめておいていただきたい、そのように思いますが、そのような取扱いでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○福森真司委員長 それでは、そのように決定させていただきます。

次に「３．協議事件（１）安心して子育てできる環境づくりに向けた政策提言について」のうち、ア．政策提言の骨子案についてを議題とさせていただきます。

議会局に資料を作成していただいております。まずは説明をお願いいたします。

議会局書記。

○議会局書記 タブレット端末のほうは、資料２、またはモニターのほうを御覧ください。

まず、政策提言の骨子案という形で、現段階の全体構成は、このような形で作成できればいいのではないかと考えております。順に見ていきますが、初めのところでは、今回の安心して子育てできる環境づくりに向けてというテーマを選んだ理由、例えばですが、総合計画の基本政策だけではなく、リーディングプロジェクトとかに、子育て支援の充実が重要で、子育て支援を行っていくというような記載もありますので、そういうところで子育て支援の充実をさせていくことが、委員会としても重要であると考えて今回テーマに選んだとか、そういうようなことを記載する場所が、初めの部分になります。

次に、協議の経過になります。こちらは、今までの委員会の活動状況を掲載していくようなイメージになります。例えば、通常やっている委員会のときには、どういう協議を行ったのか、所管事務調査ではどういうところに行ったのかというようなものを記載いたします。

次に、本市における現状と課題の部分ですが、こちらは、今まで協議・確認等させていただいた内容を取りまとめて掲載をしていくようなイメージとなります。例えば、現状では、女性人口の減少や、合計特殊出生率の低下とかあったと思うので、その辺を

取りまとめるようなイメージとなります。

次の段の調査検討の経過というところですが、ここは5月に実施している所管事務調査や、今度12月1日に行う意見交換会等の内容を踏まえて、どのような課題が出てきたかというところを記載していただくようなイメージとなります。

次が、政策提言で、ここは、現在、研究している新拠点の機能や既存施設への機能という視点から具体的な内容をここで記載するイメージとなります。

最後に、終わりの部分では、今回の提言をまとめて、今後の期待する内容、例えばですけど、安心して子育てできる環境を整備して、秦野市が子育てに適しているということを市内外に伝え、それで移住・定住につながればいいとか、そういうところで結びをしていただくようなイメージかなと思っております。

次に、2ページ目を御覧ください。こちらが、政策提言の最終的な内容ですが、現時点でこのようなイメージを前回共有させていただいておりますので、再度御確認いただきたいと思います。

次に、3ページ目を御覧ください。こちらのスライドは、秦野市の総合計画から抜粋したもので、委員会の最初のほうにもお示ししたことがございますが、一番左にある秦野市の都市像を実現していくために、様々な取組がございまして、今回の提言に関連した内容が、一番右にある基本施策3本ではないかと考えているところであると思います。

この基本政策や基本施策で、目指すまちの姿と記載されているまちになっているかどうか、どうしたら目指すまちの姿になるのかというところを皆さんに御協議いただいていると感じております。

4ページ目を御覧ください。基本施策を1つずつ見ていきますと、1つ目の施策で目指すまちの姿としているのは、安心して妊娠・出産ができ、子育て世代が秦野で子育てしてよかったと思えるまちとなります。

ただ、左側の青い部分ですが、現状としては秦野市の年少人口や生産年齢人口が減少、また、合計特殊出生率の低下にもつながりますが、子供を産む世代と一般的に言われている15歳から49歳の女性人口は減少していることを、今までの委員会で、グラフを基に把握していただけていると思っております。

さらに、各種アンケートの自由記述欄からは、子育ての相談をできる人や場がないことなどが挙げられていることも御確認いただいているかと思います。

これらの現状に対して、今回の提言で関連しそうな内容としては、右側の赤い部分でございまして、子育てに関するワンストップ相談窓口、多世代交流の場や子供の居場所としての子ども食堂なども考えられるのではないかと考えております。

続きまして、5ページ目を御覧ください。2つ目の施策で目指すまちの姿としているのは、安心して子どもを産み育てることができるまち、子育てに喜びを感じることの

できるまち、地域社会で子育てを支えていくまちとなります。

同じく左側にありますように、現状としては雨天時に遊べる場所がないことや、街中の公園ではボール遊びが禁止されているなど、子供たちの遊び場が少ないという現状や、核家族世帯の増加等により、世代間交流や地域間交流が希薄になっている現状を今まで皆さんも御確認いただいていると思います。

これらの現状に対する提言としては、右側にございますが、こども館の今の機能維持や全天候型のプレイルームなどが挙げられると思います。

最後、6 ページ目を御覧ください。こちらは3 つ目の施策でございますが、目指すまちの姿としているのは、生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子どもが将来に夢や希望を持てるまちとなります。

現状としては、発達障害の相談窓口や支援が分かりにくい、駅周辺に子育て支援拠点がないなどの現状がございまして、関連する提言としては、今までの2 つの施策と全て重複しておりますが、相談できる相談窓口や子ども食堂などが考えられるのではないかなと思っております。

以上です。

○福森真司委員長 ありがとうございます。

今、御説明いただきました中で、まず、1 ページ目の構成案の部分でございすけれども、初めから始まりまして、3 番目の本市における現状と課題については、これまでの協議を踏まえまして、ある程度作成することができておりますが、4 番目の調査検討の経過と、5 番目の政策提言の部分につきましては、今後、皆様に更なる御協力をいただきながら作成していくべき箇所だというふうに認識しております。

具体的には、調査検討の経過の部分につきましては、5 月に実施させていただきました所管事務調査、加東市もお伺いさせていただきまして、義務教育学校、ここには子供たちの学びの中で居場所があったり、また、島田市におきましては、全天候型のプレイルームであったり、加古川市では、安全という部分でも、見させていただいております。

それを踏まえまして、さらには12月1日を予定しておりますが、実施させていただきます意見交換会を踏まえまして、課題、そこで出ましたその課題に対する所感等をまとめていただいて、政策提言に盛り込んでいきたいというふうに思っています。

また、政策提言の部分につきましては、新拠点への機能ですとか、既存施設への機能に対する具体的な考え方を、皆様の御意見をいただきたいというふうに思います。それをまとめていくに当たりまして、なかなか全員でっていうのもあれなので、班分けをさせていただけたらなというふうに思っております。

これは、正・副委員長で意見を出させていただいたところでございすけども、案といたしまして、今作らせていただいたのは2班に分けます。12月1日の意見交換会も

含めて、この班でやらさせていただきますが、1班目が、私、中村委員、川口委員、横溝委員。2班目が、間地副委員長、石川委員、桑原委員、小菅委員という形で、ベテラン議員の皆様には、御尽力をいただいて、また、御指導いただきながらと考え、班分けさせていただいたところでございますが、皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○福森真司委員長 よろしいですか。

班分けした中で、司会等それぞれの役割分担をしていただけたらというふうに思います。

ここまでで何か御質問ございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○福森真司委員長 よろしいですか。

では、そのような形で進めさせていただきます。

2ページ目の政策提言の方向性については、前回御確認させていただきましたが、4ページから6ページにつきましては、今まで御協議いただいた内容を総合計画の基本施策をベースに振り分けさせていただいております。

当然、これは、皆様からもいただいております御意見を参考にさせていただきながら、また、当日のアンケートについても皆様の御意見を参考にさせていただいて、作っておりますが、この振り分けにつきまして、さらに御意見があるようであれば、よろしくお願いします。

桑原委員。

○桑原昌之委員 全体でいいですか。資料2の3ページのところに、秦野市の総合計画を確認っていうところがあるじゃないですか。ここを見てたときに、あっと思って、さっき、議員連絡会で、こども政策課長がこれからやるよっていうところがあったときに、ついにゼロ歳から18歳までくつittedものが出てきたじゃないですか。

こうなったときに、総合計画はだの2030プランっていう冊子でいうと、41ページに、いわゆる一覧表があるんですけど、それを見たときに、今、①誰もが健康で共に支えあうまちづくりの③のところの子育てのところだけがここに示されているんだけど、要素がこれだと足りないなと正直さっき聞いていて思って、そうすると、②の生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくりって、いわゆるどこの担当課かっていうと、教育部、それから生涯学習、文化、芸術、平和、スポーツ、ここ全部入ってくるよねっていう、緩やかに関連するなっていうところが出てくるなって思ったんですよ。この資料を見てて、どうしても今までは多世代交流拠点で、所管事務調査でもいいところばかり見てきたところもあるんだけど、新しいものって頭ばかりだったんだけど、既存の公民館、それから、これから出てくる公共施設再配置計画の中でいうと、学校も未来の学校なんちゃらってあるじゃないですか。あれの中で、学校の中もどういうふうにして

いくかっていうところも出てくるから、それを考えるともっと幅広くなるなっていう気がしています。

なので、もうちょっと要素を広げていかないといけないかな。資料2の次のページに基本施策1とか2とか3とか書いてくれてるやつに、現状と課題と、関連する提言とというのがあるんですけど、右側の関連する提言のところには、例えば子ども食堂っていうのは全部入ってるじゃないですか。

これは同じようなものになってくると思うんですけど、同じような流れで、関わる部分がちょっと必要かなって。さっき言った生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくりのほうからも、ちょっと引っ張って広げていくっていう部分は必要かなと思いました。

さっき、こども政策課長が話していた中で、ざっと見たときに、スポーツが何も入っていないんですよ、実は。なので、そのあたりも考えたら、卓球とかモルックとかそういうのもあるよねって思ったりしたので、ちょっとその辺も皆さんで考えてみたらいいかなと思います。

○福森真司委員長 今、桑原委員からも御指摘いただきましたように、関連する形のところは結構増やせると思います。ですので、皆さんの御意見をたくさんいただければと思います。

他にありましたらお願いします。

桑原委員。

○桑原昌之委員 やっとゼロ歳から18歳までくつついたものが出てきたなど。こども家庭庁のあれもできたかなと思うけど、前から計画してたものもあるから、上手く合わせられると。

○福森真司委員長 横溝委員。

○横溝泰世委員 桑原委員がおっしゃったことは、大いに結構なんですけど、これまでのプロセスを考えると、そういうことを脳裏に置きながら、今日まで来たというのが私のイメージで、やっどここまでまとまって、逆に広げていくと、まとまるのかなというふうに正直なところ思って、当然、背景として自分たちの脳裏に置いた中でこうやって来ているかと思うんだよね。

基本的に問題は別って言っても、今言われたことってのは全部入っちゃうんですよ、教育のほうもね。だから、改めてそれも全部拾い直してやっていくような形を整合性を持ってやっていかないと、これ、まとまらないですよ。今の今までのところでまとめていかないと、どうなっちゃうんでしょうね。

○福森真司委員長 そういう御意見もあると思いますけども、まずは御意見いただいて、それをまた御提示させていただきたいというふうに思います。

ほかに。

中村委員。

○中村知也委員 自分は、いろいろここまで話が進んできたわけですけど、何か子育てができる、そういうような話のものがすごいイメージであるんですけど、やっぱり、今、桑原委員が言われていたようなスポーツとかもいいと思うんですけど、基本的に、子供が強くなるようなものがないなってすごい思ってます、僕は、雨の日に外で遊ぶのもいいと思いますし、泥んこ遊びだっていいと思います。雨の日に外で遊べないなんていう、そういう先入観みたいな、そんなようなもので決めないほうがいいなっていう。むしろ、雨の日に外で遊べる施設を作ってあげたっていいと思いますし、便利はいいと思うんですけど、人が弱くなるようなものは嫌だなんていうふうに思ってます。

○福森真司委員長 間地委員。

○間地薫委員 本当に、今、お話ありましたけど、そういう不便さっていうのも本当に親子で一緒にすごい、思い出に逆になったりもするので、すごいいいかなと思ったんですが、私はちょっとまた別のところで、相談。秦野市で子育てされてる方に聞くと、相談窓口だったり、子供関連の役所関係のものがバラバラになってるって、秦野市はちょっと分かりづらいっていうお声を結構耳にしています。

なので、やっぱり子育てしてるときって、本当に子供の年齢によって悩み事がもう全然変わってくる。ましてや1人目の子供になると、人に相談したりしていかないと絶対に大変なお母さんが、またお父さんが、ちょっと精神的に参ってしまうんじゃないかなってところで、今の社会的にも、御近所の方に相談するとかっていうよりは、しっかりと行政にそういう相談窓口が分かりやすく、1本であるっていいかなってところで、このワンストップ相談窓口がいいかなっていうふうに感じています。

あと、以前に横溝委員が、大きい建物とか、そういうのももちろんいいんだけど、その既存の施設を活用していくことを御紹介されていて、公民館、児童館の稼働率が、パーセンテージが高いんだけど、実際のところは1回利用すれば、利用したことになるので、本当はもっと少ないってところで、やっぱり既存の公共施設を最大限に活用していくことが大事かなっていうふうに思います。

以上です。

○福森真司委員長 ありがとうございます。

先般、常任委員会で、ぽけっと21なんかも見させていただきましたけれども、常設されてないってところで、そういうお声があるということですよね。貴重な御意見だと思います。

石川委員。

○石川潤委員 間地委員と同じような感じにはなるんですけど、やっぱり、今の既存の施設を生かしていくのも大切だし、今までバラバラだっていうのもあったんですけど、

バラバラを一体化するような感じの方法でちょっと策を出して、それをうまく周知しながら、今度、保健福祉センターでもできます、各公民館でもワンストップって話もありましたよね。そういうふうな政策を出したほうがいいんじゃないかと。

私は外で預けられた身だったんで、もう赤ちゃんの頃から。そういうふうな助けがありました、核家族化っていうのが広がってますんで。中村委員も子育て世代で、小学生を育ててますもんね。現に、何かあったら、どういうところに相談に行っているのかなと思って。

○福森真司委員長 中村委員。

○中村知也委員 行政に、やっぱ相談できる窓口があると助かりますよ。

○福森真司委員長 暫時休憩します。

午前 10 時 35 分 休憩

午前 10 時 46 分 再開

○福森真司委員長 再開します。

貴重な御意見をたくさんありがとうございました。

今、出た意見以外にもございましたら、随時御意見を受けたいというふうに思いますので、引き続きよろしくお願いします。

続きまして、イ．議会報告会・意見交換会についてでございます。

これは、前回もお示しさせていただきましたが、議会報告会前の最後の常任委員会となりますので、当日の流れも含めまして、改めて皆さんで共有させていただきたいというふうに思います。

それでは、資料 2 の 7 ページ。開催日につきましては、御案内させていただいたとおり、12 月 1 日・日曜日の午後 4 時 30 分から、西公民館の多目的ホールを予定しております。

8 ページ以降の開催意図については、前回お示ししたとおりでございます。

続きまして、10 ページ、当日の流れでございます。第 1 部といたしまして、議会報告会を行わせていただきます。その議会報告会に対しまして、意見交換を実施させていただいて、意見を吸い上げていただきたいというふうに思います。次に、第 2 部でございますが、政策提言の説明を行わせていただいて、ここも説明に対する意見交換を実施していただければというふうに思います。

この辺は、皆様よろしいでしょうか。

桑原委員。

○桑原昌之委員 環境都市常任委員会の議会報告会を傍聴させてもらって、政策提言に関してのところに、結構時間がかかったと思うんです。

なので、あんまり議会報告に関するところの意見とか、議会に対しての意見をもらっちゃうと、第 2 部に時間がなくなっちゃうと思いますが、これは大丈夫ですか。

○福森真司委員長 議会局書記。

○議会局書記 今のところ、スケジュールは全体で1時間半程度を予定しております。

1部の議会報告会については、30分程度の時間を設けようと思っています。環境都市常任委員会は、1部と2部が逆だったので、そういうことになった可能性もあるとは思いますが、一応、文教福祉常任委員会では、議会報告会を先にやる予定なので、そこはある程度の時間を確保できるかなというふうに思っております。

以上です。

○福森真司委員長 桑原委員。

○桑原昌之委員 そしたら、1部のところで、本当に時間をもうきっちり区切ってもらって、例えば、まだまだ御意見あるかと思えますけど、それ以降は、また別のところでやりますみたいにしていきますかね。

○福森真司委員長 司会でしっかりとやらせていただきたいと思います。

次に11ページでございます。

当日の役割でございますが、資料のとおりでございます。正・副委員長で基本的には対応させていただくところでございますけれども、司会のサポート、そして書記、発表者、当日の受付については、各班から1人ずつ選出していただきたいと思います。

班分けは、先ほど御提案させていただいたとおりでございます。この後、役割分担の御記入をお願いいたします。

暫時休憩します。

午前10時53分 休憩

午前10時55分 再開

○福森真司委員長 再開します。

次に、議会報告で説明する資料案につきましては、資料3となります。こちらは3常任委員会で合わせておりますので、御確認いただければと思います。

次に、政策提言の説明資料案につきましては、資料4となります。提言のゴールを確認させていただいてから、本市の子育て環境に関する現状と課題をいくつか抜粋して、簡単に説明させていただきまして、課題の解決に向けたビジョンをお示ししてから、皆さんで意見交換をしていただくという流れを予定しております。

続きまして、資料5は、児童・生徒に向けて実施させていただくアンケート内容及び議会活動に関するチラシ案というふうになります。皆様から、アンケートについて御意見をいただきました。できるだけ反映させていただいております。石川委員、中村委員、桑原委員、間地委員からもいい御意見を頂いているわけですが、アンケートに反映できなかった部分については、最後に、皆様からの意見ということで、これは市民の意見も含めてということで掲載をさせていただきますので、しっかりと精査しながらやりたいというふうに思います。

間地委員。

○間地薫委員 アンケートの学年のところは、2番のところにくっつけたらいいかなと。

学校名と学年を教えてくださいってことで。せっかく、小学校・中学校って入れてくださってるので、そこに何年っていう。質問数が少ないほうがいいかなと。

○福森真司委員長 桑原委員。

○桑原昌之委員 実は、私から提案させてもらっているんだけど、紙もいいけど、グーグルとかを使ってやったほうが、あとで議会局がまとめるのに楽なんで、こういう項目を分けてあったほうが、記入式っていうよりは、もう来る学年が分かっているから、チェックか何かでいいから、参加の学年を準備しておいて、チェックしてもらえばいいかなと。来る学校が分かっているなら、学校もチェックにしてもいいかもしれない。

○福森真司委員長 川口委員。

○川口薫委員 当日、出すってこと。このアンケートはどのタイミングで出すってこと。

○福森真司委員長 議会局書記。

○議会局書記 秦野こども未来づくり会議をやったあとに、その場で、参加している児童・生徒の方に書いていただくという形になります。

秦野こども未来づくり会議には、議会局等も参加しないので、教育委員会のほうにアンケートを事前にお渡しさせていただいて、それで当日、教育委員会の方にお配りしていただいて対応するようなイメージをしております。

○福森真司委員長 今回、秦野こども未来づくり会議に、我々は御案内をいただいているんです。傍聴はできると思うんですけど。なので、教育委員会にお渡しするしかないんです。

川口委員。

○川口薫委員 問3に絡むことなんだけど、習い事をしていますか、してませんかって、例えば、習い事でも、塾だとか、スポーツだとかいろいろあるじゃないですか。そういう何かもうちょっと細かい分析ができればなって感じだけど。

○福森真司委員長 議会局書記。

○議会局書記 川口委員からは、事前にそういう御意見もいただいておりますので、検討していたのですが、趣旨として、放課後の過ごし方としてお子さんが忙しいのかどうかというところを調べられれば、今回の政策提言の内容としては、とりあえず満たすのかなと思ひまして、今回は、やっている習い事の種類というよりは、頻度として質問のほうを入れさせていただいているような形になりますが、この場で御協議いただいて、種類のほうがいと皆さんの中でなりましたら、そこはまだアンケートの項目は修正できますので、御確認いただければと思います。

以上です。

○福森真司委員長 ぜひ入れたほうがいいということであれば。

川口委員。

○川口薫委員 いろんなことに使えるのかなってという理解で、そんなに手間でもないし。サッカーやってますよ、例えば英語の塾行ってますよとか、何かやってますよってそういうのが単純に分かれれば。答えたくなきゃ答えたくないっていうようなものがあるんだろうけども、そういう程度の状況で。

○福森真司委員長 桑原委員。

○桑原昌之委員 気になっているのが、エヌ数の問題。アンケートのエヌ数は何人ぐらいですか。

○福森真司委員長 議会局書記。

○議会局書記 参加される児童・生徒が各学校2人なので44人です。当初は、全校の児童・生徒に貸与されているタブレット端末を通じて、もうちょっと選択式を多めにしたアンケートをやろうかなというふうに考えていましたけど、それはちょっと難しいっていうお話が今回はありましたので、児童・生徒44人に対して、一応、政策提言に係るアンケートということで、今回、教育委員会のほうにお願いをしているものになります。ページも今だと両面2枚程度に収めているんですけど、これ以上ちょっと増やすのはどうかなと。児童・生徒は、朝から準備して、このアンケートまで答えていただくので、さっと終わるような、ある程度必要な場所を絞って、政策提言していく上で、子供の意見をこれだけは聞いておきたいっていうぐらいのものに絞って、今回は実施したいかなというふうに思っております。

○福森真司委員長 桑原委員。

○桑原昌之委員 参加者がそのぐらいだったら、何かこの程度で。

○福森真司委員長 貴重な御意見ありがとうございます。これにつきましても、随時御協議させていただきたいと思っておりますので、お申出いただけたらというふうに思います。

また、参加者へのお茶菓子でございますけど、総務常任委員会や環境都市常任委員会は、お茶もお菓子も出されているっていうところではありますので、我々もそういうふうにしたいと思っております。なので、一応お茶代として、委員の皆様から500円いただこうと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○福森真司委員長 そのようにさせていただきます。

それでは、その他でございますが、皆様から何かございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○福森真司委員長 議会局書記。

○議会局書記 12月1日の件なのですが、当日の様子を記録用で撮影をさせていただく形になりますので、そこは皆様、御了承いただければと思います。

参加者には、通知文の中に、その旨記載をしております。

○福森真司委員長 小菅委員。

○小菅基司委員 これ、どこかに公開するのか。

○福森真司委員長 最後に、政策提言書をまとめたときに様子が写真で写ると思います。
議会局書記。

○議会局書記 政策提言に関しては、基本的にお子さんというよりは、学校運営協議会の方とやっているところの風景なので、皆さん大人の方になります。

○福森真司委員長 次回の常任委員会の開催について、議会局書記よりお願いします。
議会局書記。

○議会局書記 政策提言の次回の常任委員会の開催は、今のところ1月16日・木曜日の議員連絡会終了後に開催を予定しております。

以上です。

○福森真司委員長 できましたら、1月16日には各班の意見がまとまっている状態にさせていただいて、政策提言の中で少し盛り込んだ形にしたいと思います。できましたらですけれども、12月定例会中、12月1日にやりました後に、1度か2度集まっていいただいて、早いほうが皆さん忘れないでいいかなと思いますので、そういう形で各班でまとめていただきたいというふうに思いますので、御協力のほどよろしくお願いします。

それでは、以上で文教福祉常任委員会を閉会させていただきます。

午前11時06分 閉会

文教福祉常任委員会委員長 _____